

情報連絡員だより

－平成29年3月分の報告より－

コスト負担増が顕在化、  
先行き懸念が強まる

業種 / 景況天気図		概況
全	体	 年度末を迎えるも、一部を除いて受注や売上は伸び悩み、業況についても停滞感が強まっている。燃料価格上昇や慢性的な人手不足に伴う人件費上昇等、経営コストの負担が大きく、先行きへの懸念材料が目立つ。
製 造 業	食 料 品	 パンは売上が横ばい状態の中、人材確保難を既存人員でカバーしている状況。酒造は吟醸酒・純米吟醸酒の好調が続くも、本醸造酒については苦戦。食肉は大口の生産農家の安定した出荷で、と畜頭数が若干増加。
	織 維 ・ 同 製 品	 桐生織物は輸出向けの苦戦が続く中、夏物和装が最盛期を迎えている。レースは超高齢社会や人口減少による今後の需要減少を懸念。繊維製品は大手アパレル店の店舗縮小や、百貨店の売上減少で受注が低迷。
	窯 業 ・ 土 石 製 品	 生コンは一部地域の年度末発注で出荷量が増加傾向。コンクリートブロックは業界の若年層不足や、後継者不在による廃業増加を懸念。コンクリート製品は公共工事の発注見通しが厳しく、企業間の競争激化を懸念。
	機 械 ・ 金 属	 SUBARU関連の高操業をはじめ、概ね好調の兆しが見られるも、原材料・燃料価格の上昇やコストダウン要請に伴う加工費の削減等に苦慮。鍍金は仕事量が増加傾向にあるも、人手不足による人件費上昇を不安視。
	そ の 他 の 製 造 業	 木材は原料不足が続く中、製品率が低下傾向。紙加工品は大手製紙メーカーの相次ぐ値上げや、物流の変化に伴う今後の業界動向を注視。印刷は年度末需要により一部で受注が増加するも、先細りの傾向が見られる。
非 製 造 業	卸 売 業	 高崎卸のビッグキューブにおいては、就職解禁と同時に合同企業説明会が多数開催される。太田卸は全体として売上高が上昇傾向となるも、収益状況は横ばい状態。農産物卸は野菜・果実ともに前年並みに推移。
	小 売 業	 燃料小売は元売の精製・販売コストの増大で仕入価格が上昇。生花小売は天候に恵まれる中、卒業祝いや春のお彼岸等の物日が続き、比較的堅調に推移。商店街は暖かい日が増える中、地域によって客足に格差が見られる。
	サ ー ビ ス 業	 温泉旅館は卒業旅行等で若者の入込が目立つ。不動産取引は安中市域において、賃貸アパートの空室が目立つ一方、今後の中古住宅流通市場の活性化に期待。建築設計は法改正に伴う省エネ基準適合義務化への対応が急務。
	建 設 業	 建設工事は公共投資の偏りにより、事業量の地域間格差が拡大傾向。解体工事は年度末で忙しい中、来月以降の反動減に備え、民間工事の受注確保に傾注。電気工事は人材不足の影響で、1人当たりの作業量が増加傾向。
	運 輸 業	 年度末の繁忙感が乏しい中、一部では運転手不足や過酷な取引条件等の問題が散見。依然、上昇傾向が続く燃料価格動向を不安視。小型運送は引っ越し需要や食料品関係の輸送等が好調で、売上・件数ともに増加。